

(速報)消費生活相談の概要＜2022年4月～2022年6月＞

東三河広域連合消費生活相談センター・相談室

令和4(2022)年8月

令和4年度(2022年4月～2022年6月)に寄せられた消費生活相談件数は、987件でした。
前年同期と比べ、34件増加(3.6%)しています。
一方、愛知県全体では約3.6%減、全国では約9.2%減となっています。

■相談者居住地別件数(表1-1)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		豊橋市	豊川市	蒲郡市	新城市	田原市	町村※	その他	計
2022年4月～ 2022年6月		504	229	109	52	61	6	26	987
構成比(%)		51.1	23.2	11.0	5.3	6.2	0.6	2.6	100.0
前年4月～6月		494	229	101	35	59	5	30	953
対 前年	件数(件)	10	0	8	17	2	1	△ 4	34
	率(%)	2.0	0.0	7.9	48.6	3.4	20.0	△ 13.3	3.6

※町村は設楽町・東栄町・豊根村の合計。その他は無回答。

■相談窓口別件数(表1-2)

構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		総合 センター	豊川 センター	蒲郡 センター	新城 センター	田原 センター	計
2022年4月～ 2022年6月		520	233	115	59	60	987
構成比(%)		52.7	23.6	11.7	6.0	6.1	100.0
前年4月～6月		531	233	97	39	53	953
対 前年	件数(件)	△ 11	0	18	20	7	34
	率(%)	△ 2.1	0.0	18.6	51.3	13.2	3.6

- 居住地域別では、ほとんどの地域で増加しました。
○窓口別では、蒲郡・新城・田原センターで増加し、総合センターで減少しました。
○全体件数が増加した要因としては、被服品(前年33件→68件)と定期購入(前年85件→92件)の増加が影響しています。
なお、新型コロナ関連は減少(前年31件→22件)しました。

■相談者年代別件数(表2)

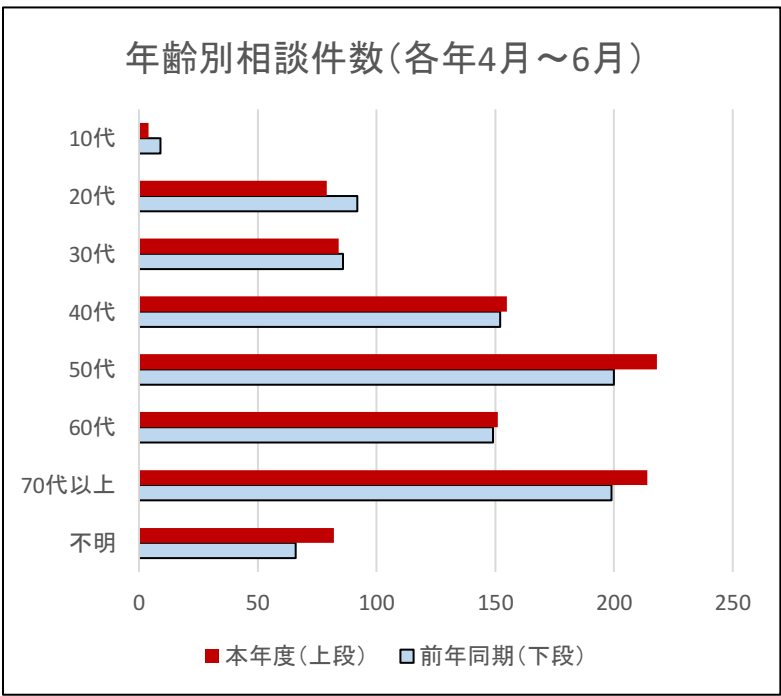
※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
2022年4月～ 2022年6月		4	79	84	155	218	151	214	82	987
構成比(%)		0.4	8.0	8.5	15.7	22.1	15.3	21.7	8.3	100.0
前年4月～6月		9	92	86	152	200	149	199	66	953
対 前年	件数(件)	△ 5	△ 13	△ 2	3	18	2	15	16	34
	率(%)	△ 55.6	△ 14.1	△ 2.3	2.0	9.0	1.3	7.5	24.2	3.6

○年代別では未成年、20代、30代で減少、40代以上で増加しました。

【内訳・詳細】

- ・「判断が不十分な方への契約」に関する相談は、19件で減少しました(前年20件)。
- ・「未成年者への契約」に関する相談は、18件で減少しました(前年25件)。
- ・「心身障がい者への契約」に関する相談は、40件で増加しました(前年38件)。
- ・「SNSを活用した商品購入など」への相談は、76件で増加しました(前年63件)。
- ・絶対儲かると言われ、デジタルツールを購入する「情報商材」関連の相談は、8件で減少しました(前年13件)。



■品目別相談件数(表3ー1) ※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		商品計 ①	商品のうち主なもの				サービス計 ②	サービスのうち主なもの				他の相談計 ③	計 ①+②+③
			保健衛生品	商品一般	教養娯楽品	被服品		教育・娯楽	金融・保険	運輸・通信	他の役務		
2022年4月～ 2022年6月		504	85	81	73	68	460	112	95	65	45	23	987
構成比(%)		51.1	8.6	8.2	7.4	6.9	46.6	11.3	9.6	6.6	4.6	2.3	100.0
前年4月～6月		470	76	104	56	33	455	116	99	69	36	28	953
対 前年	件数(件)	34	9	△ 23	17	35	5	△ 4	△ 4	△ 4	9	△ 5	34
	率(%)	7.2	11.8	△ 22.1	30.4	106.1	1.1	△ 3.4	△ 4.0	△ 5.8	25.0	△ 17.9	3.6

①商品計は、504件(前年比34件・7.2%)で増加しました。
商品分類では化粧品の定期購入に関する相談を含む「保健衛生品」が最も多く、85件(前年比9件・11.8%)で増加しました。
次に「商品一般」の81件(前年比△23件)でしたが、減少率(△22.1%)が最も大きくなりました。
増加率の最も大きな「被服品」は68件(前年比35件・106.1%)で、通販購入でイメージが違うという相談が多く寄せられました。

②サービス計は、460件(前年比5件・1.1%)で増加しました。
サービス分類では最も多いのが「教育・娯楽」でしたが、112件(前年比△4件・△3.4%)で減少しました。

■商品等別相談件数(表3ー2) ※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分(順 位)		1	2	3	4	4	6	7	8	8	10
2022年4月～ 2022年6月		商品一般	フリーロー ン・サラ金	他の 健康食品	賃貸アパ ート	役務その他 サービス	出会い系 サイト・アプリ	電気	携帯電話 サービス	光 ファイバー	相談その他
		81	49	24	23	23	21	20	18	18	17
前年4月～6月		104	42	24	15	15	27	15	23	16	21
対 前年	件数(件)	△ 23	7	0	8	8	△ 6	5	△ 5	2	△ 4
	率(%)	△ 22.1	16.7	0.0	53.3	53.3	△ 22.2	33.3	△ 21.7	12.5	△ 19.0

- ・「フリーローン・サラ金」は49件(前年比7件・16.7%)で増加しました。
- ・「役務その他サービス」は23件(前年比8件・53.3%)で増加しました。
- ・「出会い系サイト・アプリ」は21件(前年比△6件・△22.2%)で減少しました。

■販売購入形態別相談件数(表4) ※構成比合算は計と一致しない場合があります

区 分		店舗購入	店舗外取引に関する相談					店舗外 取引計	不明・ 無関係	計
			訪問販売	通信販売	電話勧誘 販売	マルチ 商法	その他			
2022年4月～ 2022年6月		249	76	364	49	10	10	509	229	987
構成比(%)		25.2	7.7	36.9	5.0	1.0	1.0	51.6	23.2	100.0
前年4月～6月		235	87	326	40	17	5	475	243	953
対 前年	件数(件)	14	△ 11	38	9	△ 7	5	34	△ 14	34
	率(%)	6.0	△ 12.6	11.7	22.5	△ 41.2	100.0	7.2	△ 5.8	3.6

- 店舗購入は249件(前年比14件・6.0%)で増加しました。
○店舗外取引は509件(前年比34件・7.2%)で増加しました。
- 【内訳・詳細】
- ・店舗購入では「賃貸アパート」に関する相談が21件(前年14件)で最も多く、
次いで「フリーローン・サラ金」が19件(前年18件)でした。
 - ・店舗外取引では「通信販売」が364件(前年326件)で最も多く、
次いで、「訪問販売」が76件(前年87件)と減少しました。
 - ・「訪問販売」では「役務その他サービス」が9件(前年0件)、
次いで「修理サービス」が8件(前年3件)でした。
 - ・「通信販売」では「商品一般」が22件(前年10件)、
次いで「出会い系サイト・アプリ」が20件(前年25件)でした。
 - ・「電話勧誘販売」ではインターネット接続回線を含む「光ファイバー」に関する
相談が8件(前年4件)で増加しました。
 - ・その他に含まれる「訪問購入」は9件(前年4件)と増加しました。

